

(仮称) SVH 千里丘新築工事に係る
環境影響評価書案に対する市長意見書

令和2年(2020年)7月

吹田市

事業者は、環境に対する取組方針として「商業施設では全国トップクラスといえるCASBEE A ランクを目指したエコストア」の建設を掲げていることや、ホームセンターという施設の特徴を活かし、地域の「防災拠点」や「災害時の復興拠点」としての役割を担う計画としていることなど、環境負荷の軽減や安心安全のまちづくりの推進に資する取組姿勢を示している。これらのことは、吹田市環境まちづくり影響評価条例の趣旨と一致するところであり、高く評価できる。

一方で、本事業で懸念される、南側出入口の開設による千里丘中央線と千里丘1号線の交差する丁字路や千里丘北交差点での交通混雑や交通安全に関しては、特段の配慮が求められる。事業者には、これらの課題への対応策の具体化に努めるとともに、施設供用後においても、実際の状況に応じた効果的な改善を継続的に行うことを要望する。

また、環境影響評価書案に記載の各項目についての意見は、下記のとおりであるので、事業の実施にあたっては十分留意されたい。

記

1 交通混雑・交通安全

(1) 環境取組内容

ア 来店・退店車両の北側出入口への誘導対策を確実に実施すること。

イ 供用後については、千里丘中央線及び千里丘1号線を走行する来店・退店車両の交通量低減を図るため、早朝の時間帯における南側出入口の利用を抑制する方策を検討すること。

ウ 来店・退店車両による南側出入口の右折入退場を防止する方策を検討すること。

エ 南側出入口付近の丁字路交差点での歩行者・自転車の安全性を確保する方策を検討すること。

2 温室効果ガス・エネルギー

(1) 環境取組内容

ア 施設の屋根面・壁面を最大限活用し、更なる太陽光発電設備の設置を検討すること。

3 大気汚染

(1) 環境取組内容

ア 建設機械等の稼働による排出ガスが事業計画地周辺の住居に及ぼす影響を可能な限り低減するため、住居から極力離れた位置に機械を設置する等、工事の実施に

配慮すること。

4 騒音

(1) 環境取組内容

- ア 工事中及び供用後において、工事用車両または施設関連車両の走行に伴う騒音の予測値が環境基準を超える地点があるため、可能な限りその影響を低減すること。

5 緑化

(1) 環境取組内容

- ア 植栽樹種には、常緑広葉樹だけでなく、周辺地域に自生している落葉広葉樹を採用すること。